

『夏休み子ども教室』開催

芦屋市が主催して、芦屋の小学生を対象に『夏休み子ども教室』が市民センターで毎年開催されております。小学生のお子様に、いろいろなことに興味を持つてもらうきっかけ作りができればとのことで、芦屋川カレッジ学友会から全15講座のうちの4講座を担当しました。「水彩画教室ーひまわりを描こう」「水彩画教室ー夏の素材を描こう」「絵手紙を描いてみよう」「理科実験ー万華鏡を作ろう」の4講座です。下記、レポートを作成しましたので、ご覧ください。

① 水彩画教室『ひまわりを描こう』8月6日（水）午前 参加者：24名+ご父兄
講師：34期梶本、39期岡本、風井（敬称略） オブザーバー：越智会長



ひまわりを描く前に、色彩の基本の話をします。色相関表を使って色についての基本、色の三原色（赤・青・黄）や同系色、反対色の説明です。その後実際に花びんに入った「ひまわり」を描いていきます。できれば、画面いっぱいにのびのび描いてほしいとアドバイスしますが、小学生の描く絵はそれぞれ個性豊かですので、それぞれの個性を褒めて自信を持ってもらうようにしています。

最後に各自の描いた絵を持って記念撮影。描いた絵は持って帰ってもらいます。今後も絵に興味を持って描き続けてくれると嬉しいですね。

② 水彩画教室『夏の素材を描こう』8月6日午後 参加者：24名+ご父兄
講師：34期梶本、39期岡本、風井（敬称略） オブザーバー：越智会長



今回は夏野菜を描きますが、その前に構図の話をします。三角に構成された構図が一番安定して見えることを実際の絵を参考に説明します。その後トマトやなすびなどの夏野菜を構図を考えながら自分で並べて描いていきます。アドバイスはしますが、絵に興味と自信を持ってもらうのが目的ですので、よいところを指摘して褒めるようにしています。同じく最後に自分の描いた絵を各自持って記念撮影して、描いた絵はそれぞれ持って帰ります。



③ 絵手紙を描いてみよう。8月7日（木）午前 参加者：16名+ご父兄
講師：33期前田、アシスト：越智、梶本、風井（敬称略）



はじめに、絵手紙を描く際の7つの心得を伝えます。①へたでいい。へタがいい。②下がきはしない。③よく見て大きくかく。④一つだけかく。⑤線を大切に、ゆっくりかく。⑥心をこめたことばをかく。⑦気軽に、でも真剣勝負で。はがきに実際に描く前に、筆運びの練習のために半紙に線を描いていきます。太い線細い線、まっすぐな線丸く曲がった線。要領をつかんだところで実際にはがきに絵を描いていきます。

自分の気に入った題材を選んで、まず墨汁で輪郭を描き、それから水彩絵具で色を付け、最後に言葉を添えます。ご父兄の皆様も一緒になってワイワイガヤガヤ楽しく進みました。最後に記念撮影をして、自分の作品は持って帰ります。自分の大切な人に絵手紙を描く習慣ができれば素敵ですね。



④ 理科教室「万華鏡を作ろう」8月20日（水）午前 参加者：30名+ご父兄
講師：33期兵東、クラリカの皆様、オブザーバー：越智、梶本（敬称略）



理科の実験として、自分で万華鏡を作ります。はじめに、光と鏡のお話をします。光りとは何か？どんな特性があるのか？鏡はなで映るのか？などなど… 不思議な事ばかりです。そんなことを考えながら実際に万華鏡を作つてみます。出来上がったらのぞいてみますが、なんでこんなにきれいに光って見えるのでしょうか！いろいろな不思議に興味が持てるようになればいいですね。



とっても有意義な「夏休みこども教室」を開催できたと思います。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(39期 風井 宏記)